価値創造プロセス

INPUTS → PURPOSE → OUTPUTS → OUTCOMES

価値創造を支える資源

財務資本

連結純資産　76,175百万円

知的資本

技術研究開発センターを保有
2020年度研究開発費　1,225百万円

人的資本

従業員数　1,810人
（2021年3月31日現在：連結）

外部環境／社会課題

地球温暖化の進展

カーボンニュートラルの
実現に向けた社会の急速な変化

**気象災害の激甚化・頻発化
大規模地震への備えの強化
インフラの老朽化**

強靭な国土を形成するための
社会資本整備の必要性の増大

**国内の人口減少と
開発途上国における人口増加**

長期的な観点での建設市場の変化

デジタル技術の急速な進展

デジタル化への対応

地盤改良工事の施工不良工事等の課題

信頼の回復

- 再発防止に取り組む
- コーポレートガバナンス体制の強化
- 内部統制の強化

財務基盤の構築

- 不祥事で棄損した純資産の回復

東亜建設工業の強み

土木

豊富な実績とノウハウを保有する
**海洋・港湾土木分野の
トップランナー**

建築

住宅、物流、PFIなどの
**社会インフラ分野
での豊富な実績**

海外

港湾土木分野を中心に
**1964年以降
52カ国で施工**

東亜建設工業の存在意義

CORPORATE MESSAGE

私たちの今が、社会の未来を創る

1908年の創業から今日に至るまで、
私たちは自らに問いかけ続けています。
建設業とは何か？
それは、社会資本と社会基盤を整備する仕事。
社会のニーズをかたちにして、現在そして未来に役立つものを構築すること。
そして、社会への貢献と、人々の幸せの実現を道徳に基づいて行うこと。
2021年、激変する時代の中、新たな風が吹いています。
持続可能な未来を次の世代に繋げていくことが
私たちの役割です。

東亜建設工業　の価値創造への取組み

インフラ整備

既存事業の高度化

■設備投資・研究開発による差別化の推進

■「海の相談室」「冷蔵倉庫の相談室」など
当社の豊富な経験・ノウハウでお客様の
ニーズに最適なソリューションを提供

事業領域の更なる拡大

■国内土木　陸上土木分野の強化

■国内建築　更なる多様化
官庁建築・医療分野など

■国際（海外）安定的な事業規模の維持拡大
に向けた進出地域・工種の拡大

地球温暖化への対応

■洋上風力発電事業へのEPC事業者としての
参画に向けた取組み

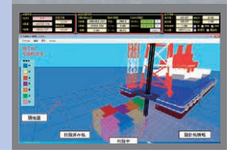
■設計・施工段階でのCO_2発生量低減に向けた
取組み

経営基盤の強化

■人財の確保・育成
- 人財育成の充実
- 女性・外国人の積極的な採用と
活躍できる環境の確保
- 人事制度の改定

■資本政策
- 資本効率性の重視
- 安定的な配当、機動的な自己株式の取得など
株主還元の安定化かつ一層の充実化
- 持続的な成長を支える財務基盤の構築

■デジタル化への対応
- ICTの活用
- AI、RPAの活用



東亜建設工業が提供する価値

社会を支え、人と世界をつなぎ、未来を創る

産業基盤の構築

海洋土木をはじめとした
国内外のインフラ建設を通じて、
世界の経済発展と産業基盤の構築に貢献します

持続可能な社会の実現

環境負荷低減や社会課題の解決により、
人々が安心して暮らせる、
持続可能な社会の実現に貢献します

多様な人財の育成

人財こそが社会や企業の礎と考え、
人財への投資を強化し、
多様な人財を育成します

12の重要課題（マテリアリティ）

E	S		G
環境に配慮した施工	インフラ整備を通じた社会への貢献と共生	労働安全衛生の確保	ガバナンスの強化
建設廃棄物の削減と再利用促進	品質の確保・向上	多様な人財の育成と活躍推進	リスクマネジメントの強化
環境負荷の低減	顧客満足の追求	活き活きと誇りをもって働ける職場環境の維持	コンプライアンスの徹底